

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28開催）

勝山地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年9月28日（土）14:00～15:30

◎場 所 勝山公民館

◎出席団体数 14団体

勝山地区保健推進委員会、勝山地区自治会連合会、勝山小学校PTA、一の宮小学校PTA、勝山中学校PTA、勝山自治連合会女性部会、新下関商工振興会、勝山地区スポーツ振興会、勝山地区民生児童委員協議会、勝山地区社会福祉協議会、下関市消防団勝山分団、勝山文化振興会、防犯パトロール隊かつやま、わんわんパトロール隊

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課課長：阿部恒信、主任：工藤敏也
勝山支所支所長：吉田茂

◎傍聴者 1名

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 14:00～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 14:05～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 14:30～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 15:30 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域分権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

【開催の様子】

9月28日に開催した勝山地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から14名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、勝山地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

勝山地区まちづくり集会の中で、参加者どうしで話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

勝山地区まちづくり集会				勝山地区まちづくり集会			
				No2			
				9月28日			
地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）	地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
安全・安心				その他			
自転車道沿いの街路樹の根切り				元気アップ事業の継続		行政へ要望	
防災				少子高齢化問題			
常備消防員の増員		行政へ要望					
高齢者の避難に協力を							
福祉							
行政と社協の棲み分け		ふれあいサロン立上げ 情報得て、高齢者見守りを	行政職員の引き継ぎをしっかりと(地域情報)				
高齢者の見守り		ほのぼのふれあいカードを配布					
その他							
地域活動はととも活発勝山の強み		地域団体の一本化による活動の強化					
会合で顔ぶれがいつも同じ		もっと地域活動に協力を					
まちづくりのための情報共有		自治会長、民生委員、福祉員、消防で情報共有したい	行政で対策を(高齢者情報の共有)				
環境							
公園の草刈り(高齢者ばかり)							

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

それではご指名でございますので、僭越ながら司会の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、ただ今より、地域の現状と将来を見据えた課題についてということですので、まずは地域の課題をみなさん方から自由に出していただきたいと思います。

そうしますと、ここでパソコン操作して、それぞれの分野に整理してくれます。

発言をされる場合は挙手をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いしたいと思えます。

それでは、皆さん方ご自由に、今、調整監の方から説明がありましたことも含めてご意見があれば皆さん方どうぞ。

今後、勝山をこうしたいなと、自分たちの地域はこうしたいなというような思いがあれば、意見があればどうぞ挙手をお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

【市民】

すいません。すばらしいお話を聞かせて頂きまして、本当に勉強になりました。

私は、ほんの少しですけど、このまちづくりということでボランティア活動をやっております。それも明るく住みよい安全な、そういうまちづくりという。

実は、その一番の頼りは連合自治会の方で決めていただいた憲章がこの下にある。

その中に、勝山はこうありたいという姿勢が書いてあるんです。

せっかくそれをやるなら、それを応援しようということで、実は防犯パトロール隊というのを結成した、それが一番の動機でございます。

ところが、一番最初はこの子どもの見守りから始まっていったんですけれども、果たしてこれがまちづくりに役に立っているのかなというような事で、だんだん広がって行って、今ここにお話しあったこういうことになって、これは根底から考えないといかんなということがありました。

その中で特に、逆に意見を求められても意見が無いんですけども、咄嗟には言えないんですが、このまちづくりの8ページでしょうか。8ページの問題とそれから10ページにスケジュール表みたいなのが書いてありますが、これをやはり地域に早いこと作ってもらわないと、ただ単に細かい要望でしかなくなってしまふ。

これも非常にありがたいお話だなと思って聞いておりました。

それでも小さな要望とか色々なことになると、一つだけ要望させていただきます。

今もその道路で街路樹を切っております。非常に有り難くて緑化運動が進んでいますが、木はどんどん大きくなりますし、根も大きくなる。

せっかくある自転車道が、根切りをしないものですから、もうデコボコになって自転車が走れないんです。全部車道に行ってしまう。あるいは歩道にいつてしまう。

そうすると、朝のラッシュ時なんかになると、もう非常に怖い目をするのがしょっちゅうあります。子どもたち、高校生はものすごく飛ばしてこれも通学の時間。JRの時間

なんかがあるので、やむを得ず飛ばす。すると子どもたちは逆にそれ横断するとそういうことで、自動車だけじゃなくて自転車まで最近怖くなってきた。

そのあたりで根切りなんかの事をやっていただくと、これ予算を伴うから何とも言えないんですが、そういうことやっていただくと、幾らかでも子どもたちが安全なんじゃないかなというように感じております。いいでしょうかそれで。

【司会】

ありがとうございます。

その表に出ておりますけれども、この中で一番左側の黄色の部分ですが、黄色の部分から2番目が自助で、これはまあ個人で解決すること。それから真ん中のところが共助で、地域で解決をしていこうということ。それから一番右側が公助というふうになっておりますが、こういった中で自助・共助の中で、これは地域で皆さん方がこうやれば良いなといったご意見があれば。忌憚のないご意見を出して頂きたいなと思います。

例えば今、防犯パトロール隊かつやまの方からお話がありましたけれども、安心安全のまちづくりということで、新下関駅の西側、それから東側は、今まで自転車が散雑に置いてあった。これが、今もう毎朝整然と置かれておるわけですがけれども、こういったことも、いわゆる共助の中に入るのではないかなと、このように思いますけれども。

皆さん方で、そういった各地域でこういう風にしたらいいんじゃないかということがあれば。

【市】

よろしいですか。現状の課題ということで色々と困っていらっしゃるというような、この辺をまず考えていただいて、困っていらっしゃることは数多くあると思いますけど、その辺からお出しただけならと考えます。

【市民】

安心・安全の中でも防災に関することになると思うのですが、自助・共助という形じゃなくて、私が今から言おうというのは、行政側の解決事項になるかと思います。

現在、下関消防局勝山出張所は、平日は大丈夫なのですが、土曜日、日曜日になると常備消防員が4名体制になります。

例えば、アパートなどで何かあって、救急車が出動するときには、救急隊員だけではなく消防車も1台出動し、その4名ないし6名がその救助活動にあたります。

その間に火災が発生した場合、勝山出張所から消防車は1台も出ないといった状態です。

もちろん北、東、中央消防署などから応援に来るということですが、勝山地区にある一番近い消防署から消防車が出られないというのは、川中地区の北消防署でも一緒、同じような状況ですが、そういう問題が各地区でそれぞれあります。

そういうことは、やはり常備消防員を増員していただいて、常備消防員がいない場合でも、そういう安心、防災に対する安全が確保される体制を考えていただきたいということです。

【司会】

難しく考えないで色々と自治会でお話していることがあれば、言っていただきたいと思

うのですが。

【市民】

今日は、地区社協という立場で出席させていただきました。

当然、地区社協と社会福祉協議会是一体のものだという風に私は考えておりますし、そういう活動の方向で、勝山地区の社会福祉協議会と市の社会福祉協議会は、今後も互いに一体となって活動をしていくのだらうと思っております。

社協だよりの10月号にも掲載されておりますが、社協では市内19会場で色々な活動を行い、延べ915名の参加者がありましたし、勝山地区でも7月26日に開催しております。

参加された皆さんからは、生活の課題や色々と共通した課題もたくさん出され、それは他の18会場でも同じであったのではないかと考えています。

そういった中で、行政が行う社会福祉関係の事柄、例えば生活保護や保育などは市がやられておりますし、高齢者の見守りなど、住民活動に関係する諸々のことは社会福祉協議会が主体でやっています。

その辺りの内部的な調整について、今後、住民自治によるまちづくりを推進する上で、どのようにうまく調整していこうという考えをお持ちなのか。

また、市と社会福祉協議会、それぞれの立場というものをどのようにお考えか。

市の中には色々なセクションがあり、特に市の福祉関係では、地域福祉の今後5年間の方向性を定めた第2期福祉計画を策定されました。

今後は、その計画によって地域の社会福祉協議会、あるいは地域住民の方々が、1つの地域の中で話し合い、様々な活動が生まれてくると思うのですが、その地域福祉と、本日の説明にあったまちづくり会議の位置づけについて、どのように関係してくるのかなという疑問が一つあります。

【市】

今、ご発言にあった通りかなと思います。

一つは、行政と住民の方々といいますか、例えば福祉関係で言うと社会福祉協議会、地区社協もありますし、それから民生委員さん等々いらっしゃいます。

下関市全体の共通課題には、高齢化が進んでいるというのが一つあります。

それこそニュースにもなっていましたように、独居老人が増える中で、男性の独居老人というのは2週間もの間、誰ともお話をしたことがない方もおられるといったような、孤独の状態が生じているようなことがあります。

例えば、それを訪問する、或いは出て来てもらえるようにするには、どうしたら良いかとなった時に、今までは地区社協がそれを担ってこられましたけれど、こういった方々がどんどん増えていく中で、本当にやっていけるのかという問題があります。

或いは、民生委員の活動でも、各家庭を回っていただいておりますが、これも、個人情報保護の関係で情報が少ないといった不安な部分も多い。

そういう中で、全体を網羅したような、例えば、連携を図るのか、新しい組織を作るのかというような形。

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

例えば、地区住民の皆さん同士で、こういうことをやってみたいとか、やれるのではないかな。そのためには、行政は恐らく、今、そこまではやっておりませんので、地区社協にやって頂いているのかなと思います。

そういった所で、色々な活動のための資金が必要となるのか、或いは、情報提供をどうにかできないかなど、そういう話をしていただければ、それぞれの役割も含めたところでお考えいただければという感じが致します。

【司会】

次に、何かありましたらお願いします。

例えば、皆さん方、勝山地区の人口は、昔は3,000～3,500人程度でありましたが、段々と増えて、今は26,000人近くになっています。

一方で、いわゆる隣同士の交流が無いとか、こんな事で困っているといった事はございませんか。そういった事で、こんなことをした方が良いんじゃないかとか、我々の町内ではこんなことをやっています、といったご意見があればお願いします。

【市民】

今日は、わんわんパトロール隊の代表として参加しております。

私の自治会では、これから立ち上げるというか、進めていきたいことがありまして、それが皆様のご参考になればと思います。

実は、勝谷新町も高齢化が進んでおりまして、最近、一人住まいの方が亡くなって1週間後に見つかったというようなことがございました。

何とか自治会の中で、見守り活動を活発化して、そういった事を少しでも防げたらということで、先日、私たち15～16名でボランティア会というのを作りました。

民生委員さん、それから福祉委員さんを含めて、先日、どうすればそういうのが防げるかということでの会合を開きました。

その中で、自治会の町民館を利用したふれあいサロンを行えば、皆さんにも集まってもらえて、その中から色々な情報が得られれば、それが見守り活動なんかにつながるのではないかなというような良い意見がありまして、それを具体化するということで、この度立ち上げようと思っているんです。

今時点で、具体的な事は案の段階ですが、毎週土曜日の午後1時から5時まで町民館を開放して、お茶を飲みに来てもらう、コーヒーを飲みに来てもらうというような事から始めていくと。その為には、まず管理者といますか、そこでお世話をする方が更に必要であります。町民館の鍵の開け閉めや、お茶の接待をする方も必要になりますので、そういう役割を決めて、誰でも集れるようにする。

その時間帯は、自由にお話をして、その中からあの家はどうかよとか、あの家を見守って欲しいといった、何々をして欲しいというような課題が出てきた時には、それをボランティア隊員で解決していこうというようなことで、先日、話し合いが行われました。早々にまとめて、それを実現させていきたいと思っております。

【司会】

ありがとうございます。この件につきましては、防犯パトロール隊かつやまと共にやっ

ておられるようでございますから、ちょっと一言お願いします。

【市民】

防犯パトロール隊かつやまから参加しています。

今、お話のあった、勝谷新町がわんわんパトロール隊でやっておられる事と同じような事をやっておりますが、昨年1年間、実はこれ、社会福祉協議会の話でもあるんですけど、そういう所から知恵を借りまして、周囲からずっと見守り、それを1年間やって参りました。

夜、家の電気がついているか、昼間にカーテンが閉めたままになっていないかとか、生活感があるかどうか、というのをずっと見守ってきました。

実は、私たち防犯パトロール隊には、11自治会の方が入っていますので、11自治会全てがやれば良いんですけども、なかなかそれは難しいものですから、昨年、まずは2自治会からということで見回りをして、トラブルも無く、幸いなことによかったです。

実は、今年も同じようなことを続けるかどうかを検討いたしまして、今年は少し進んだ形で、ハガキでほのぼのの安心ふれあいカードを作って、3町を対象に出しました。

ところが、これはかなりの手間が必要でして、70歳以上の方が全部で160名いらっしゃるの、ほのぼのの安心ふれあいカードに、お元気ですかとか、お体に不自由はないかとか、行動とか、色々なことに対して不都合ないですかとか、何か心配事はありますかとか、そういうことを書く必要があります。

ハガキも160名分となると、ものすごく予算が掛りますので、実は紙を買ってきました、それでハガキの様に切ってカードを作りまして、それを各自に配っている訳わけです。

そしたら、反響がすごくあって、ありがとうございますとか、今後よろしく願いますとかそういう電話が沢山きました。

非常に有り難かったとか、元気づけられたとか、中にはお金を貸してくれというものもありました。それに対しては丁寧に実はそういうことはやっておりませんのでということでお断りしましたけれども。

それで、別にもめ事も無いし、幸いな事に、先ほど、パトロール隊の方から、亡くなられたというお話がありましたが、そういうことはございませんでした。

また、自治会でカードを配って回られた方達も、別に大きなトラブルは無いようでした。

実は、こういった取り組みのヒントは警察でして、交番には、変な人がいるので見に来て欲しいといった電話が沢山かかってくるそうです。電話があると警察は必ず来て、見回って、そして異常ありませんというカードをポストに入れて帰るということをお聞きしたので、じゃあ、今年はこれを加えてみようということで、ほのぼのの安心ふれあいカードというものを配っています。

【司会】

大変ありがとうございました。非常に参考になりました。PTAの方から何かご意見はありませんか。学校、或いは生徒に対する事、何でも結構ですが。

【市民】

勝山小学校のPTA会長をしております。

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

市の方をお招きした地域の会合になると、大体が、どうしてもお金の事や、ハード事業の事といった話になります。

本日、お集まりの皆さんとは、地区の集まりなんかで顔を合わせ、お話をさせていただく方ばかりなのですが、地域の方だけの集まりでは、ソフト事業に関する話を、かなり活発に行っているというのが私の実感です。

そういう意味で、自助・共助というのはお金のかからない範囲で、体さえ動かせば何とかかなるというような活動は、勝山地区の中で、かなり活発に行われているというのが実感です。

先程、わんわんパトロール隊と防犯パトロール隊かつやまの方が言われましたが、そういった自助・共助的な事がかなり活発に行われているというのが勝山の強みだと思うんです。高齢化の話もありましたけれども、勝山、この資料を読むと今は18.9パーセントということで、他の地区に比べれば、かなり低いのではないかなと思いますし、そういう意味でも、まちづくり団体の運営等に関わる方々の能力というのは、他の地区に比べれば、まだまだあるのではないかなと。

そういう意味でも、そのサロンの立ち上げであったり、見守りであったりというのも実行できるのかなというのが実感です。

PTAとして思うのは、先程も言いました通り、かなりまちづくりに関する協議等も活発に行われていて、今回は、市の方も参加しての会合で、いつもとはちょっと色合いが違いますが、沢山あります。

しかし、いつも皆さん同じような顔合わせとなっているので、そういった所で、その人材や労力の分散が行われるのは、大変危惧されることだと私は思います。

そのため、例えばPTAの側から言いますと、コミュニティ・スクールであったり、育成協であったり、少年相談員の会合であったり、かなりの頻度で行われているのですが、これを一本化することによって、更に動きやすさとか、資金的なことのエンパワーみたいなものが行われれば、もっと充実した活動ができるのではないかなというのが感想です。

今回、こういったまちづくり協議というものが、これから更に行われるということですので、期待することとしては、先程、勝山地区社会福祉協議会の方も言われましたけれども、社協の動きをどのように統一化して力強いものにしていけるのかとか、コミュニティ・スクールや自治連合会などとも動きを密にして、地域として、例えば、今お年寄りの話がありましたけれども、子どもを持つ世帯としては、働いているお父さんお母さんが多く、なかなか時間も自由にならない面があるので、地域の方にお力添えを頂くという面もありますし。逆に地域の方の活動に対して、学校や子どもたちがどのようにお返しができるのかというようなことも考えていけないといけないんですが、そういった事を全体として一本化して話ができるような方向性というのが見出せないのかなというのが感想です。

【市民】

勝山中学校のPTA会長をしています。よろしくをお願いします。

私が、今年させて頂いている色々な会、今も言われましたが、色々な会の顔ぶれというのが、ほとんど変わらないなといつも感じています。

それだけ皆さんは、自治会を始め、色々な事に協力していただける方ということで、素晴らしいなという風に思っています。

ただ、参加される方が、やはり同じ顔ぶればかりであり、次を担う世代というものが、なかなか実際に育ってきていないという気がします。

私は、我々の世代、PTAの親の世代ですけど、私達が言うのもおかしい話ですが、やはり今の私達の世代をもっと地区の中へ引っ張り込めるような自治会の動きとか、そういう風にして頂けることも少し何かできないのかなとか、そうして頂ければもう少し我々、親の方も出て来て協力できるのではないかなということも少し感じております。

なかなか、我々の方からこうして欲しいということが、今は言えないと言いますか、なかなか言える親も少なくなっています。

皆さん方が親の世代の頃は、率先して協力される親が、ものすごく多かったのではないかと思いますし、だから成り立っていたのではないかと。

今、率先してやって貰える保護者もいるのですが、その後につながる他の保護者というのが非常に少なく、率先してやられている方に任せようという雰囲気はすごく感じるようになっていきます。

だから、結局、そういったことが続くと、我々の時代から次の子ども達も、やりたい人にだけ、やらせておけばいいというような教育ということではないですが、学校の中でも、やはり生徒会や児童会があって、多分、やる子はやっていると思います。

ただ、やっていない子にやる気を出させるというのは、学校や我々保護者だけでは非常に難しくできてない。

昔は、今のような核家族ではなく、お爺ちゃん、お婆ちゃんと一緒に住んでいたもので、そういった事を、たくさん教育して貰っていたのかなと思いますし、この自治会、地区を通して我々を含めた子ども達を教育できるような、この地区での活動がもっと盛んになっていくと、我々も動きやすくなるのかなという風に少し感じております。

【司会】

ありがとうございます。今、勝山中学校PTA会長から、我々にだと思いますが、色々なご意見がありました。

実は、次のリーダーを育てるということで非常に審議しておりました。

私が連合会長になって、今年で丁度10年になるのですが、ここ5年間、文化祭や運動会、球技の大会を開催すると、あれだけ多くの若者が勝山小学校のグラウンドに集まるので、いつも勝山地区には、次のリーダーとなる若者が沢山育っているなど、このように思っていたのですが、PTAの方々は、もっとシビアに現状を見ているのだなという風に感じました。

今後、こういった事を、まちづくりにどんどん活かしていきたいなと思いますので、皆さん方のような若い方のご意見が、今のようなご意見がどんどん出るよう、一つお願いしたいなど。少し話がまちづくりとは違ってしまいましたが、このように思いました。

それだけ、今、小・中学校のPTAの方からご意見が出ましたけれども、一番最初に三木部長から、この地域内分権について地域の情報化の共有ということを言われましたよね。

これがやはり、まだ密に連絡が取れていないかなど、皆様のご意見を聞く中で、先程から思っていたのですが、皆さん方の地域情報化の共有ということについて、どのように考えていらっしゃるか、ご意見があればお願いします。

この時間は午後3時までとなっておりますが、後5分くらい時間を頂いて、今の点をどのようにすれば若者と我々が情報を共有していけるかについて、ご意見を聞かせていただければ幸せるなと思います。

【市民】

新下関商工振興会の会長をしています。いつもお世話になっております。

私、情報の共有化という点で、ちょっとお話がありましたが、これは個人的な話として、自治会の方にお話をさせていただきます。

先程も言われた個人情報保護法について、この法律は、実は自治会の名簿関係は、個人情報保護法の規定にはあたらないという話です。

しかし、実際には、個人情報保護法に対して、一般の方々は、情報を出してはいけない、情報を出すと、何かに悪用されるのではないかという印象を持っておりまして、自治会名簿を集めるにしても大変な問題になっているという事だと思います。

私が考えておりましたのは、自治会の会長、民生委員、福祉員の3者くらいは、ある程度の共有した情報を持ったらどうか。

あと、消防団の方も、ある程度、情報を持っていれば、なにか災害があったときに、あそこは一人暮らしのお年寄りがいるということが分かるので、直ぐに対応できますけども、今現在では、その法律によってそういう事が出来なくなっています。

以前は、そういったことはなかったです。

個人情報保護法が施行される前までは、どこにお年寄りがいると分かっている、例えば、先ほど言われましたように、お年寄りが亡くなられたということがあった場合、近所に身寄りがない人で、警察に聞いても分からないといった場合でも、自治会長に聞けば、大阪に子どもいるといった事が分かったんですね。そういうことが昔は分かっていたんです。

今、それも現在になると、なかなか難しくなってきたので、是非、その辺りのところの教育と言ったらおかしいですが、個人情報の保護といった面では無く、お年寄りであるとか、そういった方を守っていくための情報として、共有していくようなこともしていかなければと思います。それは要望でございます。

もし難しいようであれば、公助のところで、公がそれを助けるという形で何とかできないものかなという風に思います。

それと、時間が余り無いということですが、商工振興会として、皆さん方に日頃からお世話なっています。ただ、今は元気アップ事業ということで、スタンプシール事業に取り組みさせて頂いておりますが、この勝山地区では非常にお店が点在しているので、これをどのようにしていけば活性化していけるのかという商工会としての問題です。

是非、行政の方にリードして頂くことがあれば、リードしていただきたいと。

今の元気アップ事業は店舗があちこちに散らばっていても出来るということですので、できましたら今後も続けて頂きたいなと思っています。

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

それと、私たち商工振興会は、非常に勝山地域に助けて頂いていると思っています。

自治会の方とも協力して、チラシを各回覧で配らせて頂いていますし、学校のPTAの方にも、カレンダーを毎年作らせて頂いております。

来年は、挨拶とボランティアというテーマでカレンダーを作るように計画していますので、是非、商店の方にもご協力をいただければと思っています。

それから、地区の文化祭の方も、非常にお世話になっておりますが、この度の抽選会の目玉として、1等が太宰府と温泉旅行であり、これがペアで10組程ご招待するようになりましたので、ご報告をさせていただきます。併せて、行政の方の協力の方へのお願いもよろしくお願い致します。

【司会】

ありがとうございました。それでは時間になりましたので、地域支援課長にお返ししたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【市】

よろしいですか。まだ時間がございますので、女性のご意見も頂ければと思いますが。

【市民】

勝山地区保健推進委員会をしています。

保健推進員ということですので、健康に関する活動をしています。

健康に関する事と云われましても、保健推進委員会は、こちらの公民館を拠点として健康づくりの活動をしているのですが、やはり地域の皆さんの交通の便が悪い事、車が無い、家から遠いということで、各12会場、各自治会の町民館などをお借りして健康教室を開催しております。

今年は98歳のお婆ちゃんが杖をついて一生懸命、歯の話を聞いておられました。

やはり、私たちはそういったお年寄りとのふれあいを大切にしています。それに、保健推進委員が開催する健康教室への参加は毎年、増えていますので、安心しております。

【司会】

勝山文化振興会の方、いかがですか。

【市民】

文化振興会から参加しております。

私の自治会には、お年寄りが多くて、ほとんどが80歳に近い方ばかりです。

そのため、自治会で行う公園の掃除や草取りなんかに出られるのは、皆、お年寄りのため、今から先、どうなっていくのかなと思います。

会長はどのようにお考えかと思いつつ、今まで皆さんのお話を聞いていましたけど、自治会のことを言ってもあれですけど、本当にお年寄りばかりです。

だから、こういう会に参加させて頂いて、自治会長や色々な方のご意見をお聞きして、ちょっと、色々と思いました。

【司会】

こういった話は、今度、自治会長会でも議題に出して話し合いますので、ご安心下さい。

ありがとうございます。では、連合会の婦人会長、お願いします。

【市民】

勝山自治連合会女性部会です。

そうですね、私たちの自治会は、自治会長が30代と若いので、とても活発な自治会だと感じています。イモ掘りやクリスマス会、球技大会、運動会、全ての行事に、皆が一丸となって参加しています。

それに比べますと、お年寄りの方は、敬老会などを開催しようと声を掛けても、出てこないで、今はやっていないという状態です。

地区のお年寄りは、災害が発生した場合に、どうにかして皆で助けあって、避難できるような、そういう自治会にしていきたいと思います。

行政の力を借りながら、このことに自治会で取り組んでいきたいと思っております。

【司会】

では、もう一人、勝山地区民生児童委員協議会の方からどうぞ。

【市民】

勝山地区民生児童委員協議会から出席させていただいています。

自治会は勝谷新町になるので、わんわんパトロール隊の代表とも一緒になって、ふれあいサロンを成功させようと今、必死になって案内状を作っているところです。

勝山地区は、民生委員会のデータによりますと若い人が多い地区です。

老人ばかりではなくて、若い方も沢山いらっしゃる。

若い力はあるのですが、それがまとまっていないという部分がありますので、これをどうにかして活用できたらなと思っています。

それと、民生委員会は自治連合会との協力が必要なのですが、自治連合会の会合に、たまにお邪魔しても、全連合会長の半分程度しか出席されていないということが多々ありますので、民生委員から連合会長に連絡を取らせて頂ければ嬉しいなと思います。

今回、3年目の改選があった際に、自治会の区域と民生委員の区域が全然違って、自治会長に、なかなかご理解頂けなかったところがありますので、そういう点をご理解頂けるように、市役所職員の方もちゃんと理解しておいて欲しいと思います。

市役所は4月の人事異動で職員が換わりますが、新しい方が来られると、こちらがお伝えしておいた話も、うまく伝わっていないことがあります。

支所の職員は、とても親しみやすいので、どんどんお邪魔してお話をしていますが、本庁職員にも、少しその辺りをやって頂けると、公助での力をお借りしやすくなるんじゃないかなと民生委員会はそう考えております。

【司会】

次は、勝山地区スポーツ振興会からお願いします。

【市民】

正直に言わせて頂きますと、先程、連合会長が言われたように、我々は勝山地区の大運動会をやっていますし、球技大会もやっています。

この参加者はものすごく多くて、勝山小学校のテントが満員になりまして、延べで2,000～3,000人、もしくは4,000人の方々が集まって来られます。

勝山地区まちづくり集会（H25.9.28 開催）

それは良い事で、勝山地区民生児童委員協議会の会長も言われましたように、勝山地区自体は若い人がとても多いのですが、私が住んでいる地区や、連合会長が住んでいる地区には子どもはいません。

今年、中学校の生徒が4人いましたが、今は1人少なくなって3人です。この3人も中学3年生ですから、来年の3月には中学生はいなくなって、当分はいません。

それと、今、小学生が3～4人いますが、1年生、2年生、一番上の子が4年生で、あと2～3年経たないと中学生がいない状況です。

だから、我々のような地区で一番の問題は、少子高齢化なのです。

地域の活性化と言っても、地域課題としては少子高齢化が一番の問題なんですよ。

今から10年後に、私が生きていられるかどうか分かりませんが、うちの村では誰が田んぼを作るんじゃと、そうなると思いますし、連合会長の地区も、大半がそうじゃないかと思っています。

昨年のタウンミーティングで出た意見をまとめた資料3にも、小野・井田地区は高齢化が進んでいるとか、色々と書かれているように、荒廃地が相当増えています。

この状況を、行政はどうするのかと尋ねているのではないかと思うんです。

だから、一番の問題は少子高齢化ですが、我々の地区だけではどうしようもないです。

もっと子どもが増えるように、策を練らないと、本当に、今から10年、20年後には運動会もできなくなります。以上です。

【司会】

ありがとうございます。それではマイクを地域支援課長にお返ししたいと思います。よろしくお願い致します。

【市】

会長、司会進行お疲れ様でした。ありがとうございました。

この集会の最後にあたりまして、部長から簡単にコメントを述べさせていただきます。

【市】

ありがとうございました。

実は、まちづくり集会は、ここで10地区目くらいになるのですが、私の感想から申し上げますと、初めてくらいに建設的な意見が出ていると思いますので、皆様のご理解が、非常に高いということを感じました。

やはりどうしても、我々行政がこういった集まりに出てくると、去年もやりましたタウンミーティングのような、何か行政に対してハード事業の要望・陳情のようなことが多くございます。

今日は、そういう意味では非常に、元々は、やっぱり勝山地区の活動が活発だということとを、改めて私の方も認識致しました。

個人的な事を申し上げて、大変恐縮ですが、私もこの勝山地区でございます。

私は、個人的にここに参加している訳でもないのですが、勝山地区は、今、随分おっしゃっていただいたように高齢化率からいうと非常に低い、若者が多いと思います。

そういう意味では、他の地区が抱えているところとはまた、若干持っている課題が違う

のだなという気がします。

私が一番危惧していたのは、勝山地区が、今おっしゃったように、地区によって一方的に高齢化が進んでいる所と、それから若者の多い所とが割とハッキリしているという事と、やはり一軒家の多い地区とマンションの多い地区があります。それは賃貸、分譲も含めてマンションが非常に多い地区でございますので、マンションで一番危惧されるのは、恐らくオートロックになっていて入れないし、行こうとしてもなかなか入って顔を見ることができないといったジレンマもあるのではないかな。

それが比較的、新しいマンションですので、住んでいる方も若い家族がいらっしゃるかもしれません。

これから10年、20年すると、そういう方々が年齢を経て、孤独の世帯が出てくるといった新しい課題も生まれてくる地区かという感じが致します。

それで、非常に皆さんが活動していらっしゃる内容も分かり易かったので、今日は非常にコメントが言い易いのですが、我々が持つ情報の提供不足というのも大いにあります。

それは大いに言って頂いて、或いは、こういうハード整備が伴えばソフトの活動ができるんだってということも大いに言って頂いて、これからやって頂きたいのですが、一つは個々の活動は活発なのですが、やはり総合的にコーディネーターをして頂く組織づくりというものが、新たなまちづくり組織としてあっても良いかなという感じが致しました。

一つ一つの、何か同じ福祉系のものであったとしても、例えば活動内容が違っていたり、或いは、健康と福祉というのは非常に密接な関係であります、どこの辺りのつながりがどうだとか、子どもとお年寄り、この関係は離れている様ですが、結び付ける方法はないのかとか、色々な問題があろうかと思えます。

そのような意識を持っていらっしゃるというには、ここに来て初めてお聞きしまして、非常に有り難くございました。

そういうことで、またこれのまちづくり集会といいますか、今後、計画を立てたり、組織を作って頂きたいというのが、我々の最終的な目標でございますので、どんどんとまた進化をさせて頂きたい。

進化には、深くなる、進むという両方の意味があろうかと思いますが、そういう意味でここなら組織づくりが出来るのではないだろうか、という非常に期待感を持った会議でございました。ありがとうございました。